

令和5年（2023年）11月那覇市議会定例会

一般質問発言通告書（4日目）

令和5年12月11日（月）

※1人当たり15分間（答弁を除く）

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
1	平良 識子 (ニライ)	1 在宅医療のDX推進について	超高齢社会を支えるため、那覇市医師会と連携し、在宅医療・介護のDX推進を図る必要がある。現状と課題、今後の取組について伺う
	質問方式 一問一答方式 (質問席のみ)	2 交通安全対策について	城西小学校地区におけるゾーン 30 プラスの導入について、見解を伺う
		3 不登校児童生徒の支援について	本市の不登校の児童生徒の数、フリースクールに通う児童生徒数、フリースクールと教育委員会との連携及び支援について伺う
		4 伝統工芸品芭蕉紙の支援について	琉球沖縄のみに製作されてきた伝統工芸品の和紙「芭蕉紙」について、周知、活用、販路拡大の支援が必要である。本市が発行する市政功労者表彰等の賞状、ふるさと納税返礼品、結婚証明書等の活用を提案する。対応を伺う
		5 児童館の適正配置について	新都心地区及び真嘉比・古島地区に児童館を整備すべきである。当局の認識と対応について伺う
			【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長

一般質問（４日目） 令和５年１２月１１日（月）

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
2	我如古 一 郎 (日本共産党) 質問方式 一問一答方式 (質問席のみ)	1 生活保護 (命のとりで 裁判) について	(1) 安倍政権が行った、生活保護基準引き下げの違憲訴訟(命のとりで裁判)が大阪・熊本・東京・横浜・宮崎・青森・和歌山・奈良・埼玉・千葉・静岡・広島の全国12地方裁判所で「保護費引き下げの違法性を認める判決」が出され、名古屋高裁では違法だとの厳しい判決も出たことへの見解を問う (2) 現在の物価高騰でも保護費の引き上げはされていない。一人暮らしの、例えば40歳、75歳の保護費の項目別金額と保護受給者の生活実態を問う (3) 生活保護制度は憲法25条が定める生存権保障の岩盤となっている制度である。生活保護を利用していない多くの国民にも関わるさまざまな社会保障制度の基準と連動しているが、例えばどのような制度があるのかを問う
		2 地球温暖化 対策について	(1) 第3次那覇市環境基本計画は、未来の地球にとって死活的に重要な温暖化対策であり、市民へ具体的な提案と行動提起をすべきである。たとえば、ごみ総量の削減、そのための分別の在り方、生ごみの問題について、見解を問う (2) 省エネ・4Rなどリサイクルの推進は、対策の両輪であるが、再生エネルギーの活用は避けることはできない、重要な取組である。福知山市などが推進している、初期投資ゼロで太陽光発電を公共施設で導入する、「オンサイトPPAモデル」の取組について内容と見解を問う
		3 教育行政について	(1) 子どもの権利条約の4つの原則、①子供への差別の禁止 ②最善の利益 ③生存と発達の権利 ④子供が意見を表明し尊重される権利、この原則に対する見解と取組を問う

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
			(2) いじめ、不登校の状況と10代の子どもの自殺率を問う (3) 全国学力テスト学習状況調査は点数競争の弊害を大きくするだけで、子どもに豊かな学力をつけることには役立たないと指摘されている。「点数がすべて」と子どもを点数競争に追い立て、心を傷つけるなど、すでに大きな弊害を生み出している。多くの教育委員会が「全国の平均点より上に」などと学校と教師をあおり、点数アップを現場に押し付けてきた。全国学力テストの悉皆調査が、学校と子どもたちを競争教育へと駆り立てていないか。見解を問う
		4 道路行政について	国場420番地と411-1番地を結ぶ里道は、地域の皆さんの生活道路としても使われている。この里道に沿って、沖縄大学の敷地につながる急斜面があり、その斜面の雑木と雑草が繁茂し、通行に支障をきたしている。里道を管理する立場から、定期的な雑草の剪定の要望がある。対応を問う
			【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長

一般質問（４日目） 令和５年 12 月 11 日（月）

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
3	前 泊 美 紀 (無所属の会) 質問方式 総括質問方式 (質問席のみ)	1 人権行政について 2 共同親権について 3 個人情報の取扱いについて 4 誰一人置き去りにしない教育行政について	(1) ハンセン病元患者家族に対する補償金の支給等に関する法律が令和元年（2019 年）11 月 22 日に施行されてから 4 年が過ぎた。請求期限は法律の施行日から 5 年以内の令和 6 年（2024 年）11 月 21 日までとなっているが、厚生労働省によると、補償金の支給を受けた認定数は 11 月 17 日現在 7,931 件で、厚労省が推計する対象家族 2 万 4,000 人のうち 3 割にとどまり、昨年からはほぼ横ばいになっている 本市の取組と課題意識を問う (2) 沖縄県ハンセン病問題解決推進協議会の状況と、県と本市の連携について問う 離婚後も父母がともに子の親権を持ち続ける「共同親権」について、本市の見解を問う 補助金申請等の際に、市税等の完納証明書の添付が必要とされているが、市内部で確認できるのではないか、との市民の声がある。市の対応と、法令根拠について問う 文部科学省は今年 10 月末日、「無戸籍の学齢児童生徒の就学状況に関する調査」の結果を公表した 5 月 10 日時点で法務省が把握している無戸籍の学齢児童生徒 149 名のうち、就学が確認できていない 36 名を調査した結果、35 名の就学を確認し、1 名は学齢に達する前に死亡していたことが判明した 文科省は、義務教育諸学校の設置者に向けて、就学の徹底ときめ細かな支援に引き続き取り組むよう求めている 本市での現状と対応を問う

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
		5 補助金等の 適正交付につ いて	県の観光補助事業で、「当初申請した事業実態 が確認できず、県が補助金の不交付を決定する事 例が相次いでいる」との報道があった 本市での現状と、チェック体制について問う 【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長

一般質問（４日目） 令和５年１２月１１日（月）

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
4	幸 地 わかえ (公 明 党) 質問方式 総括質問方式 (質問席のみ)	1 ひとり親家庭等における子どもの安心安全な環境整備について 2 子どもの居場所支援について 3 高齢者支援について 4 本市に設置されているＡＥＤについて 5 崖崩れ等が予想される急傾斜地の安全対策について 6 東雲自治会地域における歩道（階段）の安全確保について 7 市営住宅の退去に伴う修繕について	「那覇市ひとり親家庭等日常生活支援事業」について、事業概要と課題を問う 「子供の貧困緊急対策事業」のうち、ボランティア団体が実施する子どもの居場所運営支援について、現状と課題を問う 本市における「軽度生活援助事業」の事業概要と実績を問う 本市が設置しているＡＥＤの主な設置場所と直近３年間の利用回数について問う 過去２年間で３度、定例会において質問してきたところ、今年度、崖地の相談窓口が設置された。崖地を補修する予算についても、事業化して予算措置をしてほしいと要望してきたが、進捗を問う 那覇市小禄１丁目３７番地と３８番地の間にある歩道（階段）は、数十年前から、子どもたちの通学路及び地域住民が利用されている。「建物が取り壊されたことで、現在、危険な状態であり、本市において防護柵を設置してもらえないか」と、相談を受けている。子どもたち、そして市民の安全確保の為に、設置可能か、問う 令和３年９月定例会において、「宇栄原市営住宅への入居希望者がいるが、空き部屋があるのに何故入居できないのか」と、質問したところ、「今後、予算確保についても関係部局と調整し、空き部屋解消に努める」との答弁だった。その後の進捗を問う

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
		8 道路行政について	令和4年2月定例会において、県道62号線から鏡水ふれあい会館向け市道小禄南16号までの間の私道整備について質問した。その後、自治会長等と話をし、道路整備を進めたいとのことだったので、道路管理課へ繋いだが、その後の進捗を問う
		9 宇栄原南地区の区画整理事業について	現状と課題を問う
			【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長

一般質問（４日目） 令和５年１２月１１日（月）

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
5	清 水 磨 男 (ニ ラ イ) 質問方式 総括質問方式 (質問席のみ)	1 会計年度任用職員について 2 育児休業の取得について 3 D X 以前の政策について 4 中心市街地について	人事院勧告に基づく改定により、支給されるべき給与の取扱いについて、代表質問において検討すると答弁されている 検討は当然であるが、年度内に何らかの形で支給するのか伺う 佐賀県では育児休業の取得を当たり前にしたいと、「ハッピー・ツー・ウィークス」として、育児休業を取得しない場合に、所属長に「不取得理由書」の提出を求め、そこでは「業務多忙のため」は理由にならないとしている 那覇市でも、すぐに取り組めることで、導入を提案するが、那覇市の考えを伺う 「入札・企画提案の公告」のHPでの公開ルールについて伺う (1) 牧志公設市場において、代表質問にて、持ち上げサービスが提供できていない場合があり、那覇市も把握していることが明らかとなった 利用者を第一に考え、公設市場の入居基準に照らし合わせれば、事業者間の問題解決は那覇市も交えてじっくり解決するにしても、サービスについては全店舗にて即座に実施させるべきだが、那覇市の取組を伺う (2) にぎわい広場の扱いを全庁的に検討する時間は６年以上あったが、多くの計画で明記されている自動車の抑制に真っ向から反するコインパーキングが設置された コインパーキングを設置するとした計画はあるのか、もしくは計画に真っ向から反する事業を那覇市は実施することが出来るのか伺う

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
		5 那覇市政の 運営について	(3) 6年以上の検討期間を経て、にぎわい広場を6年に渡ってコインパーキングにすることについて、地域に説明した回数と説明を受けて事業を受け入れた人数を伺う (4) 壺屋、桜坂といった地域、国際通りから農連市場までの信号機の設置について進捗を伺う (1) 沖縄県議会の辺野古新基地という表現を巡る経緯について報道されるが、那覇市の考え方を伺う (2) 政治資金収支報告書の公表により、久高友弘前議長を代表者とする政治団体より、知念市長を代表者とする政治団体へと、令和4年に610万円の寄付がなされたと明記されている 前議長が那覇市有地を巡って起訴されるということに鑑み、市長からの詳細な説明を伺う (3) 令和4年11月定例会における那覇市副市長の選任の議案を巡る質疑を行った際、「本人に確認をしなければお答えができない」としたまま、1年が経過してもその説明がなされていない 旧統一教会を巡り、被害者救済の法案が衆議院で可決され、他方では岸田首相の面会問題が報道され、今でも注目を集める問題に関連することに対し、説明責任が果たされていない当時の質疑に対する回答を求める
			【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、上下水道事業管理者、関係部長

一般質問（４日目） 令和５年１２月１１日（月）

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
6	屋 良 栄 作 (自民党・みんなの沖縄!) 質問方式 総括質問方式 (演壇・質問席)	1 小学校の修学旅行について 2 漫湖公園古波蔵側の整備について 3 苦境に立たされる中小零細企業の支援策について 4 死亡数の増減について 5 NHKコロナ禍報道の放送倫理違反について 6 学生への新型コロナワクチン接種強制の有無について	世界自然遺産のやんばるの森での宿泊、森林体験及び学習については、森林環境譲与税を一部財源として実施することが可能であり、活用することが望ましいと考えるが、その進捗及び次年度の取組はどうなっているか伺う 漫湖公園の活性化、整備については、本年の２月定例会代表質問で議論し、その後、鏡原側については順調に進捗しているようだが、古波蔵側についてはどうなっているか伺う 物価高騰、人件費増加圧力、長期金利の上昇などによって、本市はもとより、わが国の中小零細企業を取り巻く環境は、きわめて厳しい 本市の中小零細企業が、政府や地方自治体などから受けられる補助金などの経営支援策や救済策はいくつあり、本市市内企業や事業者への周知や、利用状況はうまくいっているか伺う わが国の異状な超過死亡や、沖縄県及び本市の死亡数の増加について、何度も一般質問で取り上げてきたが、改めて沖縄県及び本市の死亡数の増減はどうなっているか伺う NHKが５月に放送した「ニュースウォッチ９」で新型コロナウイルスのワクチン接種後に亡くなった人の遺族を、感染者の遺族に見えるようにして放送した問題で、放送倫理・番組向上機構（ＢＰＯ）が本年１２月５日、「放送倫理違反があった」とする意見を公表した。当局の見解を伺う 医療従事者や福祉介護従事者になることをめざす大学生や専門学校生が、現場実習する際に、新型コロナワクチンを何回以上接種したかどうかや、接種歴の有無で拒否されることがあるのかどうか、あってよいことなのか見解を伺う

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
		7 新型コロナワクチン後遺症等が疑われるが、現代医学では原因不明とされる方々への対応について 8 IHR(国際保健規則)改定、パンデミック条約創設について	大阪府泉大津市では、新型コロナ後遺症、新型コロナワクチン後遺症、新型コロナワクチン接種後の感染後遺症が考えられ、疑われる方々に対して医療関係者の協力にとどまらず、ヨガ、アロマ、スポーツマッサージなどの分野のエキスパートの協力を仰いで、改善プログラムをつくり実行している 本市としても、医療機関から原因不明と診断され悩み苦しむ方々に寄り添う施策を調査研究し、いずれ実施していく考えはないか伺う IHR(国際保健規則)改定とパンデミック条約創設について、WHO(世界保健機関)で議論されているようであるが、進捗状況及び本市におよぼす影響について伺う
			【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長

一般質問（４日目） 令和５年１２月１１日（月）

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
7	古 堅 茂 治 (日本共産党)	1 市長の政治 姿勢について	(1) 自民党派閥の政治資金パーティー券収入を巡り、過少申告して巨額の裏金づくりをしていた疑惑が次々と発覚している。この問題は、昨年１１月に「しんぶん赤旗日曜版」が最初にスクープし暴露したもので、神戸学院大学の上脇博之教授が告発したのを受けて、東京地検特捜部の捜査が始まり、故意性が強い上に規模も大きいとみて、政治資金規正法違反（不記載・虚偽記載）での立件を視野に調べが進んでいる。許せない自民党派閥の政治資金パーティー券収入の不記載、虚偽記載、裏金づくりへの選挙管理委員長の見解を問う (2) 自民党などは、「寄附」に比べて透明度が低いパーティー収入を政治資金集めの重要な手段と位置付け、依存度を高めていて、それが企業などとの癒着の温床になっている。企業・団体献金は企業や諸団体の利益誘導のために資金提供するものであり、本質的にはわいろにあたる。カネで政治を動かす、私腹を肥やす金権政治をなくして、清潔・公正・公平な政治を実現するには、政治資金パーティーも含めて、企業・団体献金の禁止が不可欠である。見解を問う (3) 知念覚市長の那覇市長選挙での選挙母体団体と役員体制、主たる事務所の所在地と、知念覚市長を支持し後援する政治団体と資金管理団体の名称を問う (4) 知念覚市長を支持し後援する政治団体の政治資金パーティーの開催状況と収支について問う (5) 久高前議長逮捕事件で、真相究明を質した我が党の代表質問に、威圧する知念覚市長の答弁姿勢は許されない。沖縄県警は、知念覚市長の選挙母体の会長で、知念覚選対本部長も務めた自民党市議の久高前議長を含む４人を贈収賄容疑で逮捕した。そして、刑事部長を長とする１２０人態勢の特別捜査本部を設置

質問方式
一問一答方式
(質問席のみ)

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
			し、議会、当局など関係者への事情聴取などが行われていて、真相究明へ向けて市民の期待が高まっている。久高前議長の逮捕を受けて、本市議会は議長が公式に謝罪し、「議員逮捕の不祥事に関する検証・再発防止会議」を立ち上げた。知念覚代表の「笑顔ひろがる豊かな那覇を創る市民の会」は、会長が自民党市議・久高友弘前議長で、自民党の那覇市・南部離島区選出の県議と那覇市議が役員を務めていた。「市民の会」も、「知念覚後援会」も、役員を務めた自民党議員も、久高氏を公認した自民党も、選挙母体の会長・選対本部長を務めた久高前議長の采配・指導を受けて当選した知念覚市長も、今回の逮捕・起訴については重い責任がある。そのことを自覚するならば、市民に対して謝罪し、再発防止へ正直に説明責任を果たすべきである。知念市長の見解を問う (6) 市長会単独の振興予算要請は県民分断につながる。政府への要請は、立場の違いを越えて、県民の利益第一の立場で市町村と県が一緒に取り組む課題 沖縄の戦後史は、日米両政府が仕掛けてくる県民分断とのたたかいでもあった。悲惨な沖縄戦を体験した沖縄県民は、命どう宝・反戦平和の「沖縄の心」を信条に、保革を超えた大同団結の力で野蛮な米軍支配に抗い、本土復帰を実現させ、沖縄発展の礎を築いてきた。官房長官時代に、当時の翁長雄志知事と県民に向かって、「戦後生まれなので沖縄の歴史については分かりません。辺野古は唯一の解決策だ」と言い放って、新基地を強権的に押しつけてきたのが菅前首相である 「過去に目を閉ざす者は結局のところ現在にも盲目となる」。ドイツ敗戦40年にあたり時のドイツのワイツゼッカー大統領の演説の有名な一節である。沖縄の歴史を知らない菅前首相に市長会が面会した目的と、知念覚市長の菅前首相との面会状況(2022年の副市長時も含む)を問う

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
		2 御茶屋御殿の復元、首里城再建について	(1) 沖縄県の御茶屋御殿事業化可能性検討調査は、既存資料の収集と整理に着手し、整備手法をどうするかなど事業化に向けた課題の整理をおこなった。その内容と早期復元に向けた本市の対応について問う (2) 2026 年の首里城再建では、首里城の正殿に掲げられる扁額が新たに発見された史料「尚家文書（もんじょ）360」を基に、扁額の色を焼失前の赤（朱色）から黄色に変更される。小さな大博物館、那覇市歴史博物館の果たした役割について問う 【答弁を求める者】 市長、副市長、上下水道事業管理者、選挙管理委員会委員長、関係部長

一般質問（４日目） 令和５年１２月１１日（月）

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
8	坂 井 浩 二 (自由民主)	1 教育行政について	教育行政について以下伺う (1) 夜間中学設置について、那覇市夜間中学検討委員会の結論を伺う また、山城教育長に手交された提言書の内容を伺う (2) 夜間中学設置について県及び離島を含む他の市町村の動向を伺う (3) 保護者とのトラブルなど、学校が抱える問題について法的に助言し、問題解消を図る弁護士「スクールロイヤー」導入を９月定例会において提言したが、必要性についての本市の認識と進捗状況を伺う
		2 学童保育行政について	学童保育利用において、生活保護・ひとり親世帯を対象とした利用料の減免対象が３年生までと区切られているのはなぜか。生活困窮世帯の経済状況を鑑みた場合、学年や年齢で区別することなく等しく減免措置を図るべきであるが、本市の今後の方向性を伺う
		3 福祉行政について	住居移転を余儀なくされた高齢者及び障がいを抱える方々が、移転先を確保できないといった社会問題が発生している 本市はどのように現状を認識しているか、また今後の方策について伺う
		4 文化行政について	那覇市ぶんかテンプス館の本来の設立意義とあり方について本市の認識を伺う また、現在進めている再公募の選定基準について伺う

質問方式
総括質問方式
(質問席のみ)

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
		5 消防行政について	スマートフォンのライブ映像を活用し、迅速かつ適正な応急手当及び救命率向上を図る「L i v e 119」システムの導入について今後の方向性を伺う
			【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長